

ラオス国立博物館 ヴァンペン・ケオパンニャー館長が来日

～東京・埼玉・関西で文化財の保護や展示、博物館の役割について知見交換～

国際交流基金（JF）は、2025年7月20日（日）（※21日に来日）から12日間にわたり、ラオス国立博物館の館長、ヴァンペン・ケオパンニャー氏（Ms. Vanpheng Keopannha）を招へいます。

本招へいは、日本とASEAN間における次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「次世代共創パートナーシップ－文化のWA2.0－」の一環として実施する「文化人短期招へい事業」です。同事業は、ASEAN諸国から各分野を代表する文化人や専門家等を日本に招へいし、日本の文化と社会を体験してもらうとともに、関係者との対話や意見交換を通して人的ネットワークを形成する取組みです。



ヴァンペン館長はこれまで、現職の館長として、また考古学・博物館学の第一人者として、ラオス文化や歴史を展示・発信し、文化遺産の調査研究や保存活動にも精力的に取り組まれています。国際的な連携にも尽力されており、日・ラオス両国の相互理解や、文化保存における国際協力にも参画。自身も、ラオスハンディクラフト協会に所属し、特にラオスの伝統織物の保存や振興活動にも熱心で、人材育成にも献身されています。

過去には、埼玉県海外技術研修員として約10か月間日本に滞在した他、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所（ACCU 奈良）でのワークショップにも参加されました。

日本の文化や文化財そのものだけでなく、日本国内の博物館等における文化財・遺産の展示や保存、文化的交流が生まれる場としての「館」のあり方にも関心を寄せ、招へい中はこれら分野の各関係機関や人物を訪問します。

ヴァンペン館長の滞在中、インタビューなどのご取材が可能です。取材可能な予定については、広報担当者までお問い合わせください。

ラオス国立博物館とは・・・

首都ビエンチャンに所在する、ラオスの歴史や民族、文化を展示する国立博物館です（2017年に現在の新館へ移転）。旧館は、当時の総督邸を改装した歴史的建造物であり、1945年に独立が宣言された貴重な場所でもあります。先史時代から現代まで、ラオスの多層的な歴史が詰まった博物館です。

記

事業概要

事業名称：文化人短期招へい事業

主催：独立行政法人 国際交流基金（JF）

被招へい者：ヴァンペン・ケオパンニャー（Ms. Vanpheng Keopannha）／ラオス国立博物館館長

招へい日程：2025年7月20日（日）（※21日に来日）～7月31日（木）

訪問地：東京都、埼玉県、京都府、奈良県、大阪府

使用言語：ラオス語又は英語（必要に応じて通訳付き）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

日程（予定）

7月21日（月）	来日
7月22日（火）－25日（金） 【東京／埼玉】	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 東京国立博物館 国立科学博物館 練馬区立美術館 埼玉県立歴史と民俗の博物館
7月26日（土）－31日（木） 【京都／奈良／大阪】	京都国立博物館 奈良国立博物館 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所 （ACCU 奈良） 国立民族学博物館

※ 記載は訪問予定順です。

※ その他文化施設や機関・人物等への訪問を含めて現在、旅程を調整中です。最新情報については広報担当にお問い合わせください。

事業について

「文化人短期招へい事業」は、オピニオンリーダーとして高く評価される諸分野の文化人を ASEAN 諸国から日本に約 10 日間招へいし、日本側の関係機関・関係者とのネットワーキング、面談・対談、メディア取材、講演会等を通じて、対日関心および理解を深めるとともに、本人の活動や魅力を国内に発信することを目的とします。ASEAN 諸国での対日関心喚起・親日感の醸成および日 ASEAN 友好関係の促進に向けた一助となることを目指します。

本年度は下記の文化人を招へい予定です（実施済みを含む）。

時期	招へい国	招へい者	役職など
5月	タイ	パット・ブンニティパット氏 Mr. Pat Boonitipat	映画監督（『おばあちゃんと僕の約束』）
7月	ラオス	ヴァンペン・ケオパンニャー氏 Ms. Vanpheng Keopannha	ラオス国立博物館館長
8月	カンボジア	ソー・ピナ氏 Ms. So Phina	カンボジア創造産業振興協会事務局長、作家
10月	フィリピン	エリック・ゼルド氏 Dr. Eric Babar Zerrudo	フィリピン国家文化芸術委員会エグゼクティブ・ディレクター
1月	ミャンマー	サン・モン・アウン氏 Mr. San Mon Aung	出版社・書店経営者、詩人・作家、ミャンマーペンクラブ事務局長

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－について

JFは「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関です。JFでは2024年から10年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」を展開しています。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

取材のお願い

このプロジェクトは、2013年から約10年間にわたって数多くの交流事業をおこなった「文化のWA（和・環・輪）プロジェクト～知り合うアジア～」を発展的に継続するもの。日本語パートナーズ事業と、双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

次世代共創パートナーシップ－文化のWA2.0－公式ウェブサイト (<https://asiawa.jpf.go.jp/>) では、これまでの取組を記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

以上

SNSで国際交流基金の最新情報を発信中

[TheJapanFoundation](https://www.facebook.com/TheJapanFoundation)[@thejapanfoundation](https://www.youtube.com/@thejapanfoundation)[@japanfoundation](https://twitter.com/japanfoundation)[@japanfoundation](https://www.instagram.com/japanfoundation)

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp